

【ユニリハ】ものづくりシーティングセミナー

原理編 & 工房実技編

世界に現存する様々なシーティング理論をひとつにまとめ、その技術をどのようにしたら臨床で生かしていけるのかを深く掘り下げた内容となっています。

通常のシーティングやフィッティングは、当然座位から派生しています。しかし、当協会のシーティングは「筋緊張」に主眼を置いた知見や研究結果です。座位ではなく、臥位からシーティング、フィッティングを研究し、徹底的にクッションを作り上げる技術志向のセミナーです。

日時 2017年7月2日(日) 10:00~16:30

- ・ **会場** 八王子市芸術文化会館いちようホール
- ・ (東京都八王子市本町24番1号)

受講料 15,000円 (原理編のみ7000円)

- ・ **申込URL** <http://universalreha.com/>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会
TEL/FAX 042-208-0102
E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

～研究から生まれたシーティング技術～

■原理編

- ・ 姿勢は筋緊張の制御と位置づける
- ・ 姿勢は、ニュートン力学、筋収縮様式、アライメント（第3の坐骨）の3つで構成される
- ・ 回復段階やADLの中にシートクッションを適宜合わせていく。

目的1：シーティングやフィッティングの技術を使って、障害があってもながらもQOLを高めた生活を送る橋渡しをすること

目的2：車椅子を卒業して、これまで使ってきたインテリアに座る

目的3：インテリアのテーブルやいすを使えるようにする橋渡しがシーティングやフィッティング技術の役割のひとつ

■工房実技編

理論編で得た知識をそのまま形にしていきます。実際にクッションを作製します。

- ・ ウレタンや低反撥クッションを用いる。(ウレタンクッション寸法は400×400×20mmが基本)
- ・ 業者が仕入れるウレタンと同じもの、クッションに使う生地は実際の車のシートや厚生省基準座位保持装置に使うものと同じメッシュ生地を利用する。
- ・ 業者と同じスキルで作製する。
- ・ リハビリテーション医学とも融合させる。



セラピスト
が
クッション
を作る